

教育長あいさつ

名寄市教育委員会教育長として令和6年5月16日より2期目を迎えました。

前小野浩一教育長の後任として令和4年7月1日に教育長を拝命してから、名寄市は教育都市宣言「私たちは、北・北海道で唯一の公立大学を持つまちとして、幼児教育から大学教育までの連携のもと学校、家庭、地域が手をつなぎ合い、豊かな心と知性を育み、生涯にわたっていきいきと学ぶため、ここに「教育都市」を宣言します。」の都市であることを心して、学校、家庭、地域が連携・協働した学校教育、社会教育の推進に取り組んでまいりました。

今日、我が国は目指す未来の姿として、Society 5.0の社会（サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会）で、持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保し、一人ひとりが幸せ（well-being）を実現できるようにする姿を描いています。

そして、教育においては、新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な予測困難な時代を、児童生徒一人一人が多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質能力を高めていくことが求められています。

こうした今日的な課題に正対し、美しく豊かな自然環境と北・北海道の中核都市としての都市機能を有する名寄市の魅力を大切に、時代を超えて変わらない価値のあるもの（不易）と時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）を見極めながら、名寄市教育目標の具現を図り、名寄市民の幸せ（well-being）に資する教育行政が推進できるよう熱意、誠意、創意をもって取り組んでまいり所存です。

皆様の御理解と御支援を心からお願い申し上げます。

令和6年5月16日

名寄市教育委員会教育長 岸 小夜子